

週刊新社会

5月2日



2018年号外
野田市版

振替 00140-0-149727 1ヵ月 600円 1部 150円 41円
http://www.sinsyakai.or.jp/
発行所：新社会党 E-mail/honbu@sinsyakai.or.jp

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F Tel. 03-6380-9960 Fax. 03-6380-9963

戦争論で政治家が勇ましいのは自分は戦場に行かないから

市民版まちづくり計画の市民らしさ これからもまちづくりに活かせる提言

もっと早く手に入ったらと悔やまれるのが『市民版まちづくりプラン』(手づくり工房・のだ発行)だ。

2001年9月発行で「風吹きはじける醇^{あじ}なまち」とタイトルされている。市民派議員と土木や建築の設計士など多彩な市民が98年10月に発足させ、01年8月末まで会合や現場ウォッチングを74回重ねて作ったものだ。

同時期に野田市も01年度から15年間の総合計画を策定していたから、市民の野心的な取り組みで、ビジュアルなつくりとなっている。

写真下の「まちの将来像」では、

基本コンセプトを「市民のパワーを生かそう」「みどりを守る」「いろいろな遊び会話が生まれるまち」として多彩な項目が並ぶ。

このうち現在できているものや進んでいるものに、コミュニティバス(本数が少ないのがネック)、川沿いの自転車道、エレベーターのある駅、生物多様性に恵まれた利根運河と周辺の保全、沼・池の保全、江川地区の谷津田の活用など。

逆に成果が出ないのは地域密着の商店街、歴史ある建物の活用、便利な駅前、東武鉄道の複線化、車いすが通れる県道(流山街道、現在市道)などである。

本紙今週号ではおさなみ議員は2面の「道しるべ」と、大会特集の3面「書記長集約」を書いています。少し表現がダブっていますが、来週号は2面の「政界メモ帳」で登場予定です。

特に市の計画と異なるのは人口の見通しである。市は開発志向で2015年度を約16万人としたが、市民版ではすでに人口は横ばいであり、住宅地周辺や市街地に緑が豊かに広がり、田園風景を残す計画で、すでに始まっていたみずき地区や座生地区の人口増を見込んだ13万5千人が適当としている(どちらも合併は考えていない)。当時市民がこれだけのものをつくった。その熱意と知見に脱帽。



船橋でも条例改正漏れ

法人市民税条例のため市長が報酬減額

野田市で 3 月議会で改正しなければならぬ条例を 4 月の臨時議会で提案し、可決したうえで 4 月 1 日遡及施行したことは既報のとおり。

船橋市でも遅れた経緯が異なるが、条例改正を怠ったとして市長の報酬を 1 カ月 50% カットを行ったことが分かった。

その条例とは法人市民税に係る税条例で、消費税 10% 実施が延期されたことに伴い、税率を元に戻さなくてはならなかった。しかし、

資本金 1 億円以上の法人については戻したが、1 億円未満については放置したものの (図 1)。

しかも施行日は昨年 4 月 1 日なので本来前年度の議会での提案が必要だった。この改正漏れに気がついた市長サイドは昨年 10 月に臨時議会を招集。しかし、

議会は納得せず継続審査となり、12 月議会で施行日を 4 月 1 日訴求させず、公布日に変える修正案が

図 1 船橋市の税条例改正漏れの構図

船橋市議会だより 232 号から転載

改正時期・内容	資本金等の額が 1 億円超の法人	資本金等の額が 1 億円以下の法人
従来からの税率	12.1%	9.7%
平成 28 年第 2 回定例会改正による税率 法人に対し平成 29 年 4 月 1 日からの消費税増税等の影響をなくすための改正	8.4%	6.0%
平成 29 年第 1 回定例会改正による税率 消費税増税等の延期に伴い「従来からの税率」に戻す改正	12.1%	改正漏れにより約 8.6%
平成 29 年 4 月以降のあるべき税率	12.1%	9.7%

出るなど紛糾した。結果は多数で市長提案が可決した。これを受けて 2 月議会で市長は自らの減給条例を提出し可決されたというもの。

おさなみ議員の Facebook から 労働尊重都市ソウル市と日本の働きざまのかい離

私の日程は GW に入りながら相変わらずです。しかし、政治と経

済が相変わらずでは世界から取り残されます。

仕事と同じなら均等待遇を定めた労働契約法 20 条の裁判と運動の記録を見ていたら、東京メトロの駅売店の労働者は休憩所もなく、駅のベンチで昼食をとっているとの報告がありました。

休憩時間は休憩所で、もしくは職場の外にも自由に出来るというのが本来の休憩時間。東京メトロの非正規差別はひどすぎます。

たとえば韓国ソウル市では地下鉄の清掃業務の非正規労働者を無期雇用に変換して賃金も上げました。その労働者たちが休憩所を使えることになったことや、通行証ではなく「社員証」で職場に入れるようになったことを一番喜んでいました。自分たちも人間として扱われるようになったと。ソウル市長選挙は 6 月に迫っています。

歴史的な南北会談と合意

日本会議支配の安倍政権は右往左往

歴史的な南北朝鮮首脳会談成功後、ムン・ジェイン韓国大統領から安倍総理に、南北首脳会談でキム・ジョンウン委員長が「日本と対話の用意がある」と表明したことを伝えました。

ムン・ジェイン大統領は必要なら橋渡しをすとも安倍総理に伝えたと報道されています。

共和国の外交センスは大したものです。孤立した安倍総理にさかさずメッセージを送るとは。

しかし、これで安倍総理が考えていることが進むとは考えるのは大間違い。ムン大統領は安倍首相の伝言をこう伝えているのですか

ら。「安倍首相も北朝鮮と対話する意思があり、特に過去の清算を基盤に日朝国交正常化を望んでいる」と。

ここで「過去の清算」を相手はどう受け止めたのか。当然植民地支配から始まる清算であって、拉致問題だけではないと考えるのが外交の世界標準。

国内的にも在日朝鮮人や朝鮮総連敵視政策、朝鮮高校の無償化排除など、懸案は膨大であり、それを日本会議に支配された安倍政権、自民党政権にできるのでしょうか。

安倍総理が問われているのです。

おさなみ facebook 4 月 30 日投稿

おさなみ facebook 4 月 29 日投稿